

一般質問通告書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第2項の規定により通告します。

令和 2 年 11 月 20 日
東村山市議会議長あて

議席番号 20 番
質問者 石橋 光明

記

1. コロナ禍で影響を受け続ける市内経済の支援について

- ・ 東村山農業者・企業等応援事業などについて
 - (1) 東村山農業者・企業等応援事業、住宅修改築費補助事業(補正前・補正後)の申請数、給付数、及び予算執行状況は。
 - (2) 今年の内市事業者の倒産件数推移、新型コロナウイルス関連による倒産件数、及び全体数の前年との比較は。
 - (3) 上記の数値や市が得ている情報を踏まえ、市内経済の状況をどう見ているか。
- ・ 10 月 1 日から開始した「がんばろう東村山！最大 20%戻ってくるキャンペーン」について
 - (1) 開始から2ヵ月が経過した予算の執行状況は。
 - (2) 事業開始以前と現状の PayPay 登録事業者数の推移。また、登録事業者や利用者の増加を推進するための対策は講じているか。
 - (3) PayPay 株式会社や参加事業者などから得ている評価や事業進捗などを踏まえ、事業効果をどのように分析しているか。また、その分析は、当初市が期待していた内容との比較は。
 - (4) 新型コロナウイルス感染症の影響を受け続けている市内経済。このキャンペーンは 12 月末をもって終了となる。国都の交付金等も期待したところではあるが、今年度の一般会計補正予算第 4 号で積み立てた「地域産業活性化基金」も活用し、PayPay のポイント還元を含め、改めて市内事業者への支援策を講じるべきと考えるが、見解を伺う。

2. 久米川駅西側の踏切・都道拡幅の進捗について

- (1) 久米川駅西側の踏切・都道の拡幅について、現在の進捗を伺う。
- (2) 先般可決した、一般会計補正予算第 2 号内の事業「久米川駅南口駅前空間検討業務委託」の検討項目を改めて伺うとともに、踏切・都道の拡幅事業との関連性を伺う。

3. 萩山地区 地区計画区域の将来像について

- (1) 萩山地区計画が決定された経緯とこれまでの経過。
- (2) 地区計画の目標、土地利用の方針(B地区のみ)。
- (3) 地区内にある「お茶の水女子大東村山郊外園」を正式に購入し、地区計画の目標、方針を踏まえた場合、今後、当該地区はどういった有効的な活用が考えられるか。
- (4) この地区内には、大型マンションを含む民設公園、萩山憩いの家、ゲートボール場、ざわざわの森などがある。また、多摩湖自転車歩行者道の面していることもあり、地域住民は勿論のこと、市外の方々も多く通行し利用されている。さらに現在、「狭山丘陵観光連携事業」の推進中であり、狭山丘陵と繋がっている多摩湖自転車歩行者道の有用性と価値は大きい。

第五次総合計画基本構想の「まちの課題」の「みどりの保全とみどりを活かすまちづくり」に、「公園は、身近な憩いの場として市民に親しまれており、それらをさらに魅力あるものとして整備・活用する取組が求められています」とある通り、市の課題が数多くある中、「公園」の価値向上の取組を最大級の課題と捉えている。

9月議会でも一定の答弁はあったが、地区計画の目標、方針等を踏まえ、この地区は公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し、「みどりの保全」を念頭に多様な価値を生み出す公園等に整備することを改めて提案するが、見解を伺う。